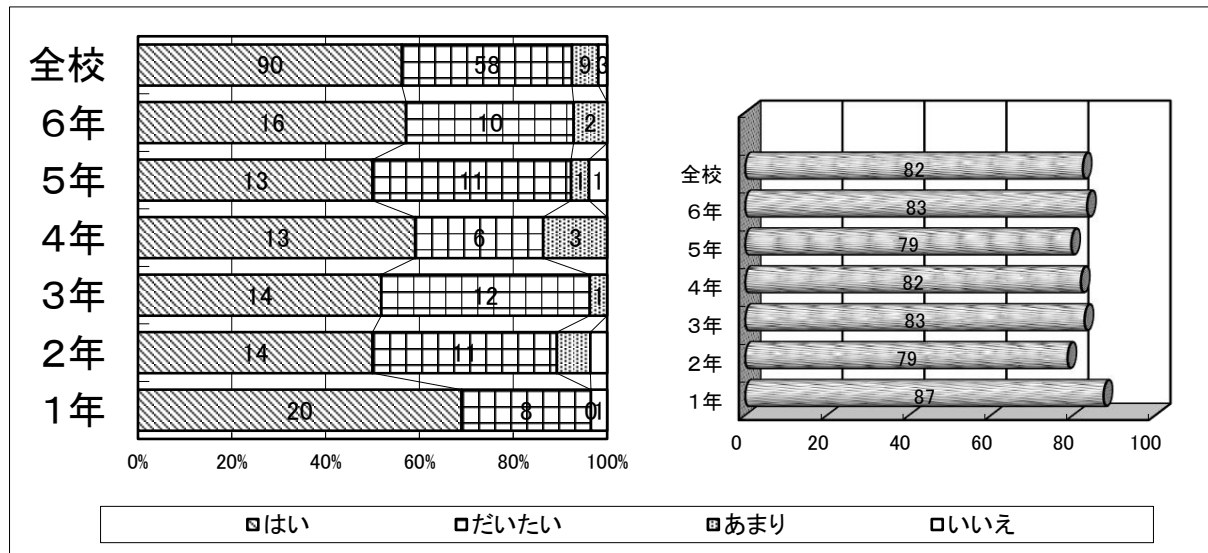
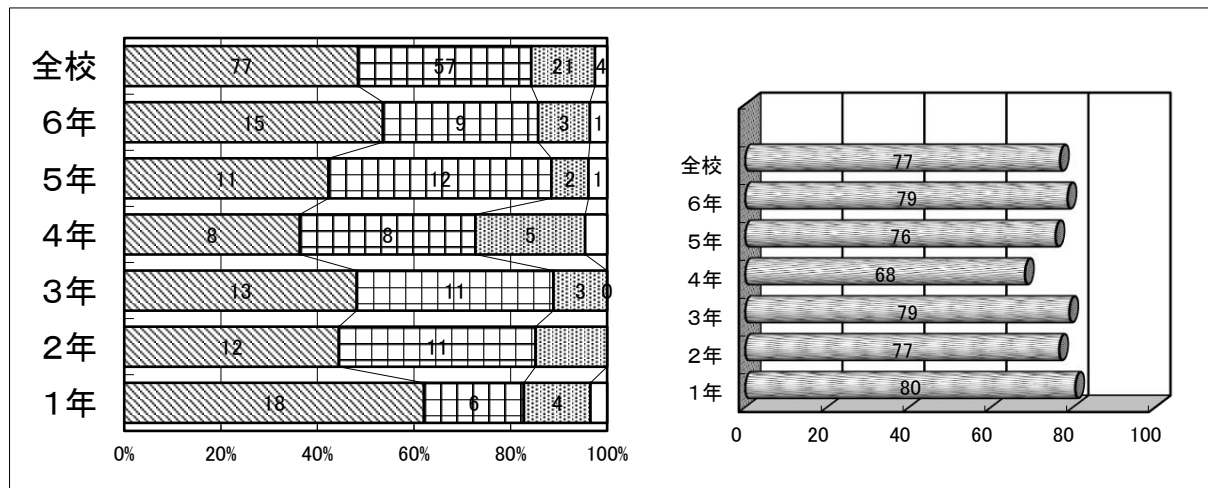


児童評価（令和4年度）

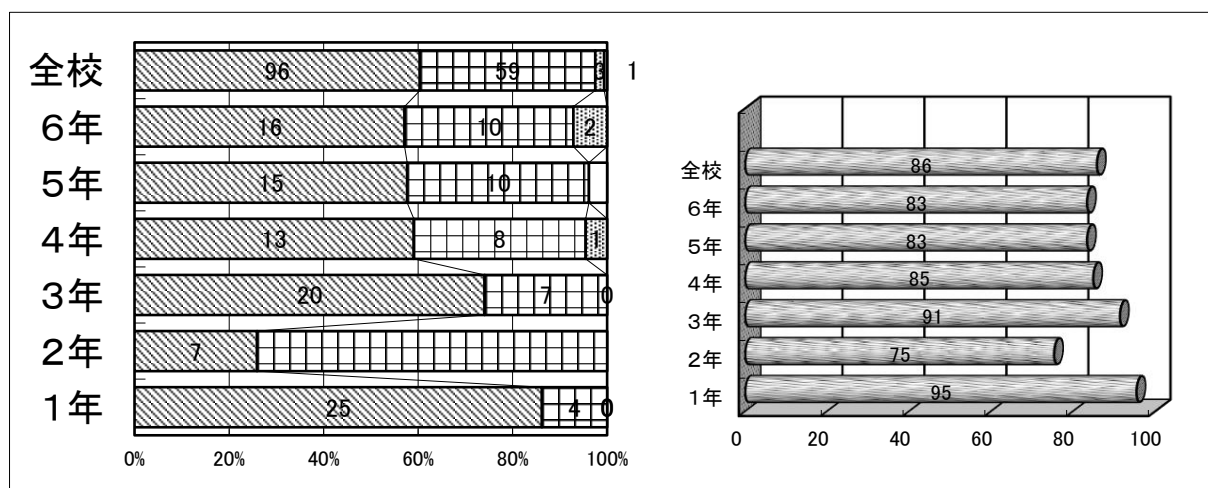
①英語の学習は、好きですか。（全学年）



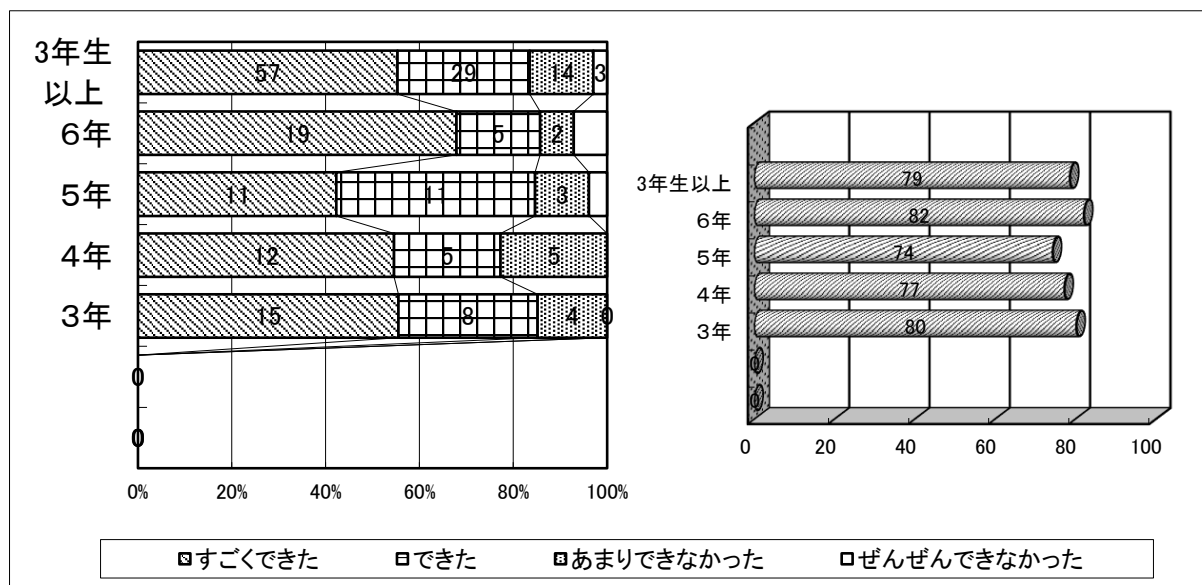
②習った英語を声に出して言えましたか。（全学年）



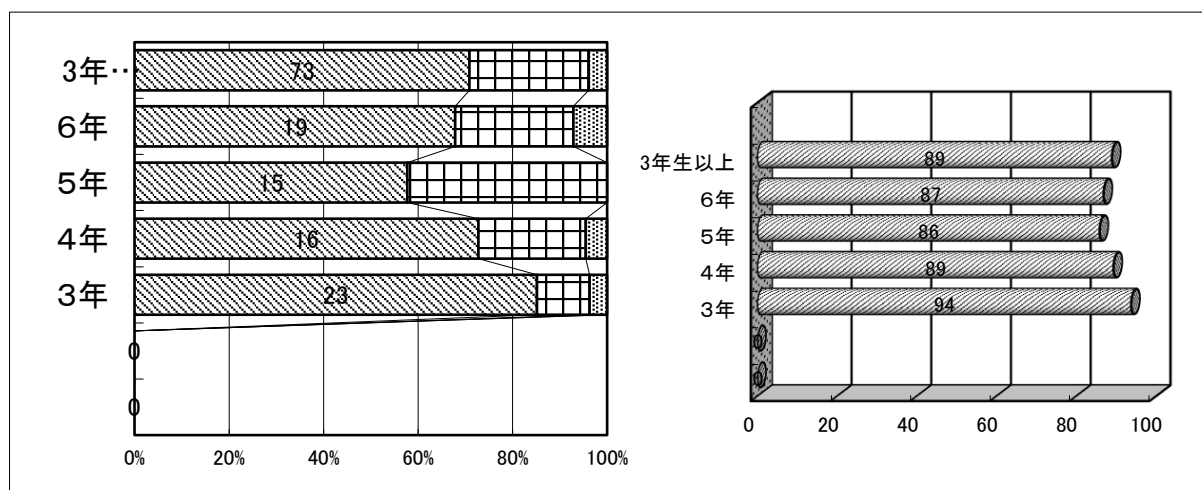
③しっかりと聞くことができましたか。（全学年）



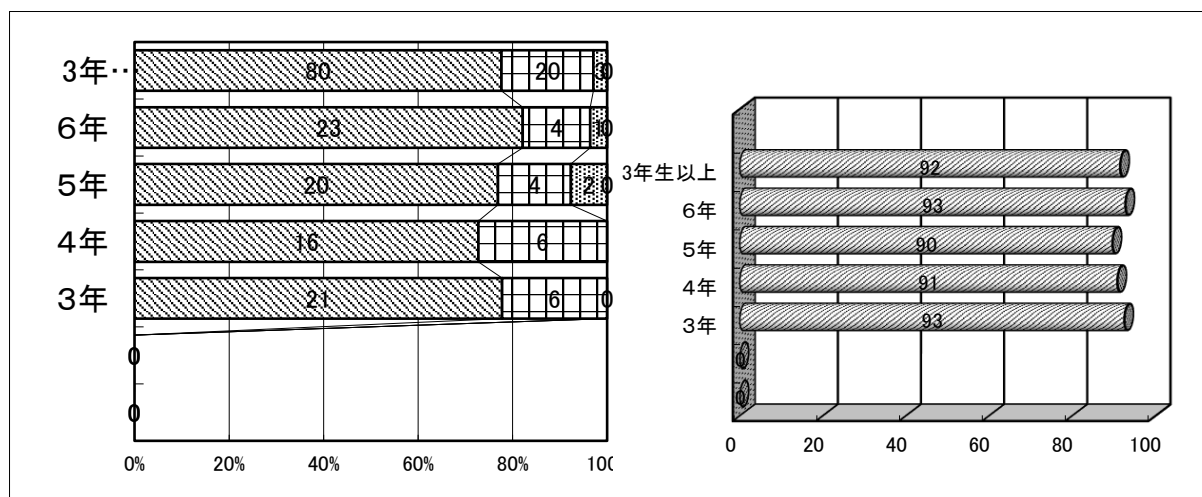
④相手の質問に答えることができましたか。（3年生以上）



⑤友達と楽しく活動できましたか。（3年生以上）

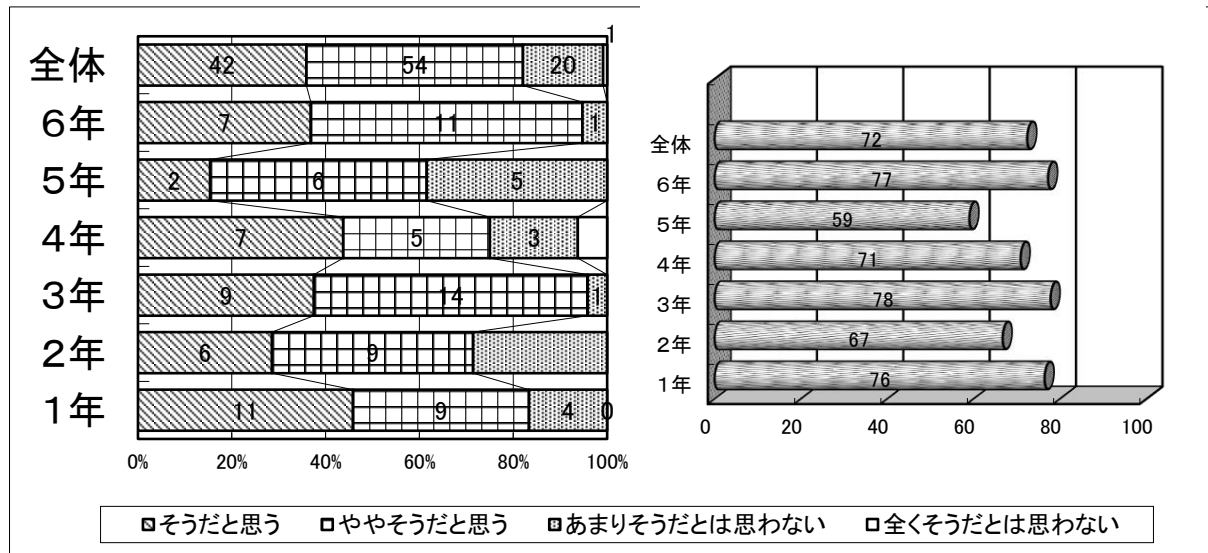


⑥英語の学習は、大事だと思いますか。（3年生以上）

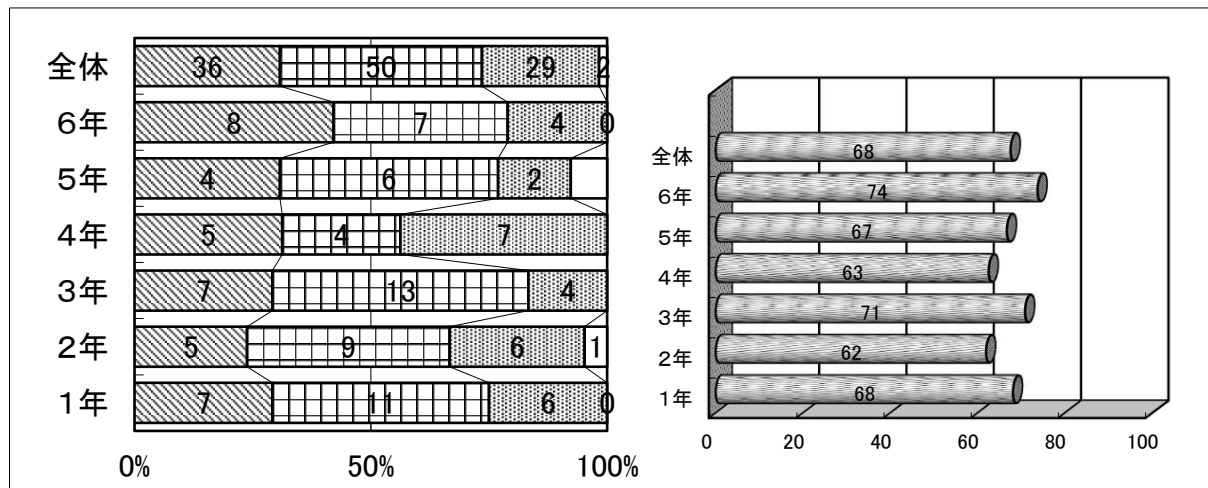


保護者評価

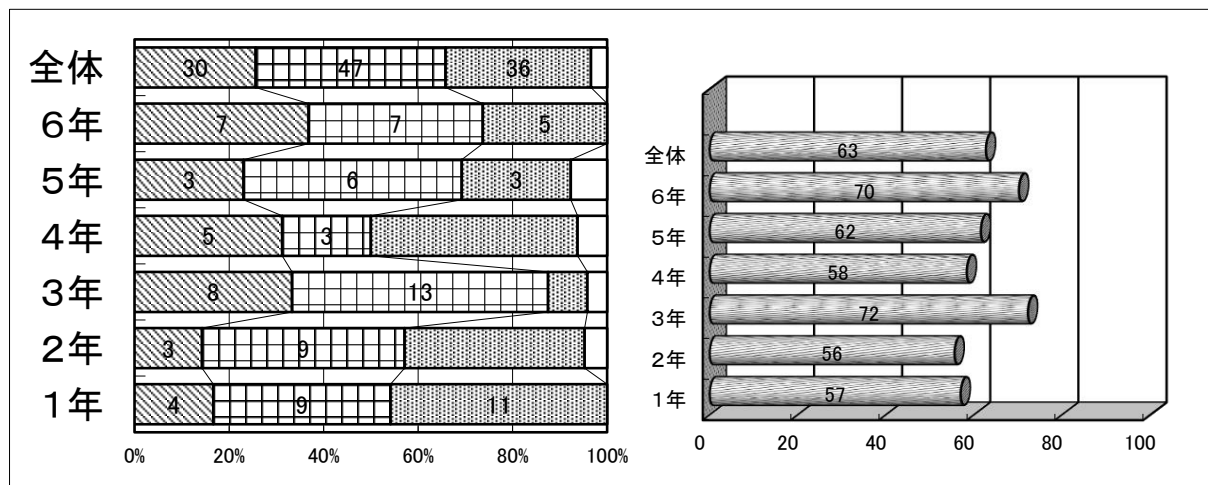
①お子さんは、英語の学習を楽しみにしていますか



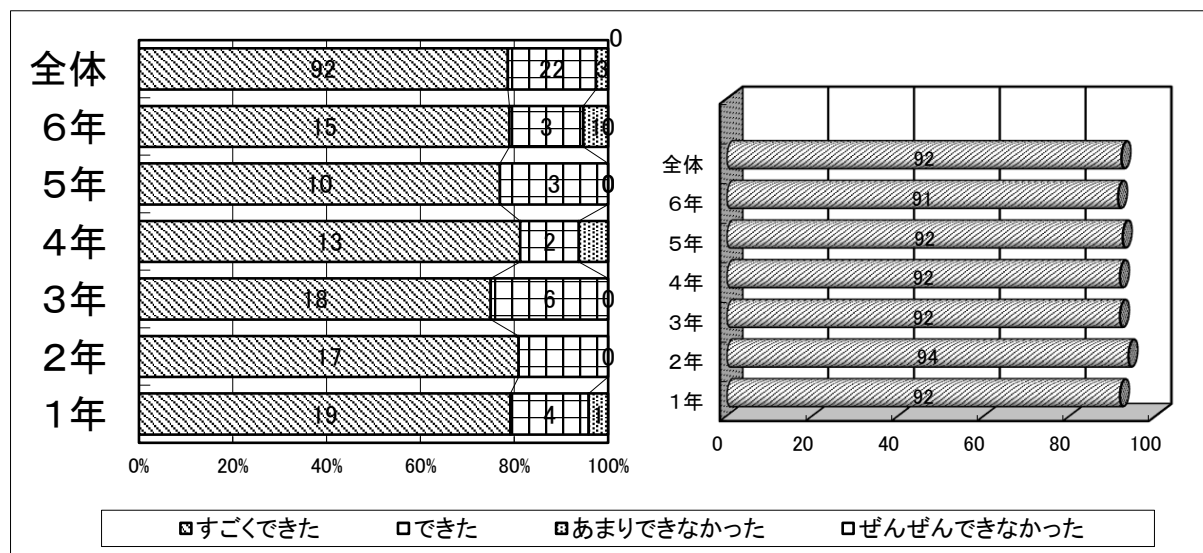
②お子さんは、以前より英語にふれるようなことに興味や関心を示すようになりましたか



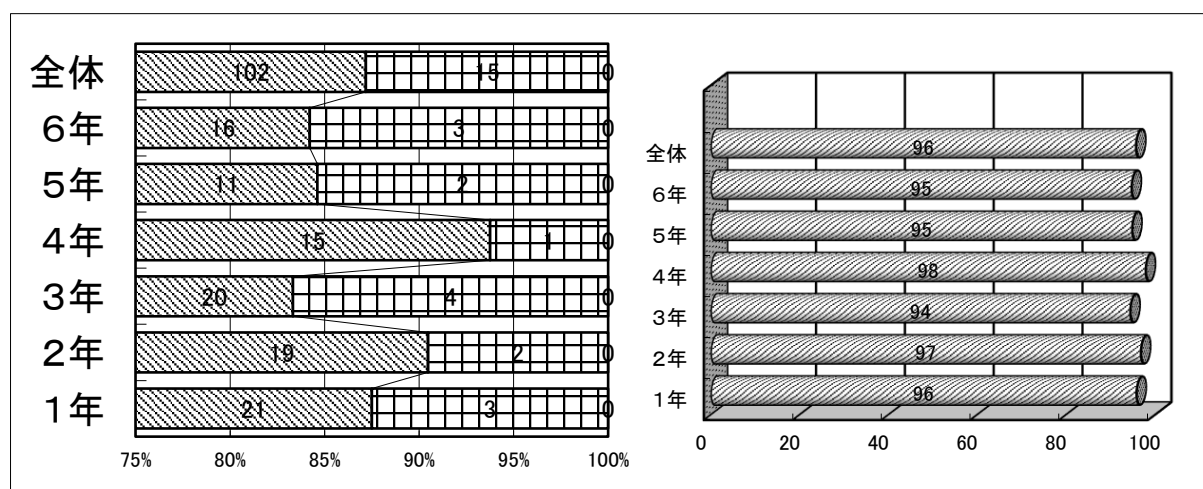
③お子さんは、以前より外国に興味や関心をもつようになったと思いますか



④小学校で英語の学習をすることは、大事だと思いますか



⑤外国と人とコミュニケーションを行おうとする態度を身につけることは大事だとおもいますか



英語に関わる児童評価では、「英語の学習は好きですか？」という設問に82点の評価をしている。また、「小学校で英語の学習をすることは、大事だと思いますか？」の設問に対して、児童評価は92点、保護者評価でも92点の評価をいただいております、英語教育への関心の高さがうかがえる。

(評価点は、「そうだと思う」を3点、「ややそうだと思う」を2点「あまりそうと思わない」を1点、「全くそうと思わない」を0点とし、独自の計算式に当てはめ設定したもの。満点は100点。)

中学年の英語に関する感想をみると、「英語をもっと勉強したい」「英語は将来役に立つ」「英語で話すことが好き」「英語の授業は、ゲームなどがあって楽しい」などが多い。高学年では、「海外に行ったときに役立つ」「仕事で将来使うかもしれない役に立つ」「外国の人と話ができる」などの感想が多くみられる。このことから、小学校の英語の授業ではゲーム等を交えながらコミュニケーションを大事にして英語に慣れ親しむことが大切だと思われる。また、学年が上がるにつれて英語を仕事に活かしたり、外国の人と話す機会が出てきたりすることを考えており、英語の必要性を自覚して学んでいることがわかる。